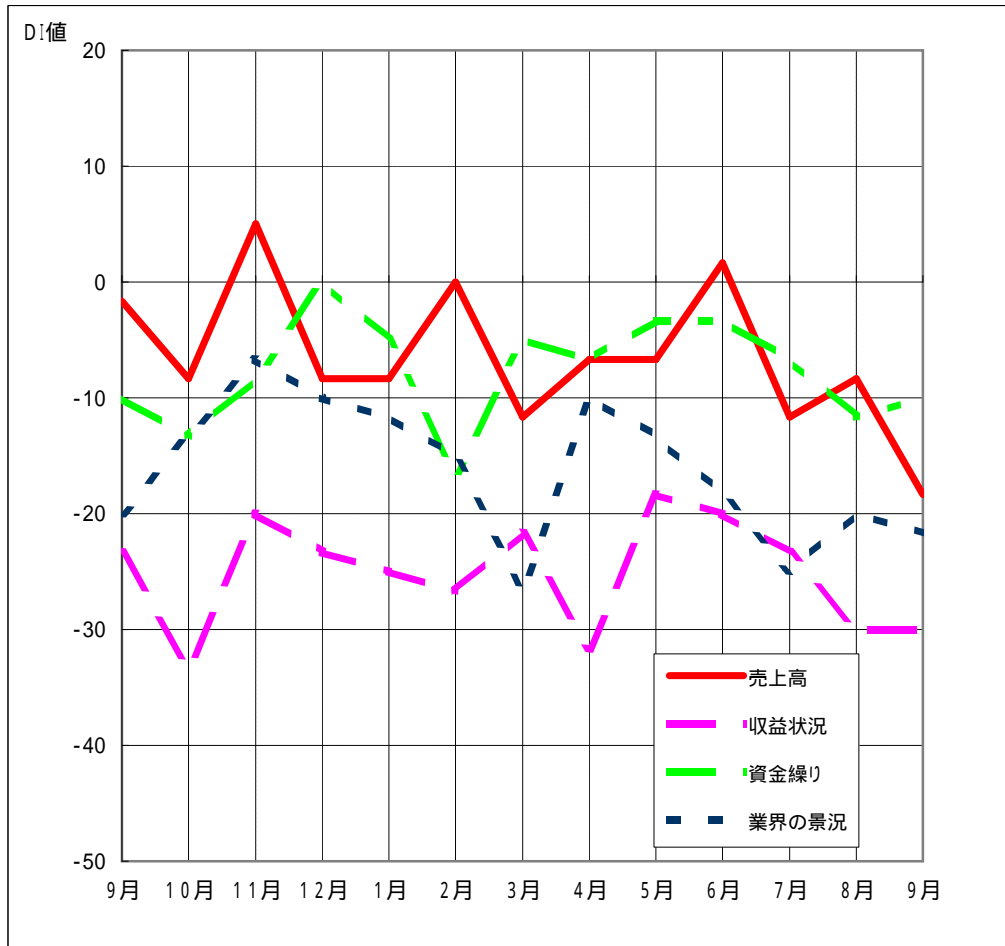


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成17年9月～平成18年9月

単位:ポイント



	H17				H18								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	-1.7	-8.3	5.0	-8.3	-8.3	0.0	-11.7	-6.7	-6.7	1.7	-11.7	-8.3	-18.3
収益状況	-23.3	-33.3	-20.0	-23.3	-25.0	-26.7	-21.7	-31.7	-18.3	-20.0	-23.3	-30.0	-30.0
資金繰り	-10.0	-13.3	-8.3	0.0	-5.0	-16.7	-5.0	-6.7	-3.3	-3.3	-6.7	-11.7	-10.0
業界の景況	-20.0	-13.3	-6.7	-10.0	-11.7	-15.0	-26.7	-10.0	-13.3	-18.3	-25.0	-20.0	-21.7

9月のDI値をみると、前年同月より「資金繰り」を除く3項目で悪化した。「売上高」DIは前年同月より16.6ポイントの悪化で、マイナス10%台に推移した。「収益状況」DIについては、6.7ポイント悪化しマイナス30%台に推移。「資金繰り」DIは、±0ポイントで、マイナス10%となった。「業界の景況」DIは前年同月より1.7ポイントの悪化で、マイナス20%台を維持する結果となった。

ここ3ヶ月の傾向をみると、全般的に一進一退で推移している中、「売上高」DIの悪化が非常に目立っている。

組合の特記事項からは、製造業では、前月期に引き続き「鉄鋼・金属」、「一般機器」の一部で受注増とする報告があるが、それ以外の製造業の多くでは原材料価格高騰等により収益性が厳しい状況である。

非製造業では、「卸売業」、「運輸業」、「鉱業」の一部で受注増とあるが、それ以外の非製造業の多くでは、売上減、石油価格高騰等、製造業と同様に厳しい状況である。

新潟県内の中小企業は、業種間・企業間で格差はあるものの売上減、原油をはじめとする原材料価格の高値推移により、先行き不透明で厳しい状況が続いていることが窺える。